

10月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和2年10月末現在〕

令和2年11月12日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、すべてで改善した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」は、全てで改善した。非製造業では、「景況」「売上高」は改善したが、「収益状況」は悪化した。

GoToトラベルによる県外からの顧客増加、人の動きが活発になったことや市町村のプレミアム付商品券の利用等により全体で数値が改善した。

景況DI

製造業は、前月比19.2ポイント改善の-38.5ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント悪化の-29.2ポイント、全体では、前月比14.0ポイント改善の-34.0ポイントになった。

売上高DI

製造業は、前月比26.9ポイント改善の-34.6ポイント、非製造業は、前月比33.4ポイント改善の4.2ポイント、全体では、前月比30.0ポイント改善の-16.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比7.7ポイント改善の-50.0ポイント、非製造業は、前月比4.2ポイント悪化の-37.5ポイント、全体では、前月比2.0ポイント改善の-44.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン	10月に入り持ち直しの傾向が見られた。しかし、いつ学校が休校になるか分からない状況なので学校給食パンは油断はできない。
	味噌	
	酒	○県内全体の課税移出数量 当県9月の清酒課税移出数量は、8月まで一旦立ち直りを見せていたが、9月には一変して清酒全体で対前年同月比76.8%と厳しい結果となった。本格焼酎についても8月とほぼ同率の対前年同月比79.8%であった。主に飲食店向けに多く出荷する普通酒が対前年同月比63.4%と特に低位であった。また清酒の輸出については、新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みから戻ってきており、令和2年9月の輸出数量(全国ベース)は、対前年同月比132%となっている。米国は依然厳しいが、香港・台湾・シンガポールが伸びてきている。しかし、今後欧米の状況は予断を許さないと考える。 ○県内当業界について 例年通り、10月より多数の酒蔵が仕込みに入ったが、新型コロナウイルスの影響で日本酒の売上が伸びず、多くの酒蔵で仕込みを減らしている。例月の3倍の売上が見込める12月の忘年会シーズンが今季のキーポイントとなる。大規模の忘年会が開けず、厳しい見込みである。
	納豆	GoToトラベルの影響で観光客向けの土産品の売上は前年同月比30~60%くらいで少しずつ改善してきた。一般消費者用は、セールが多いため中小企業は厳しい。
	菓子	土産品・お祝用・進物用のお菓子の動きが鈍い。GoToトラベルにより他県からの顧客が若干あり。新型コロナウイルスが収束するまではこの状況が続くと思われる。
	漬物	
繊維工業	織物	
	袋物	先月の少し回復の兆しは長く続かず、先が見えない状況。ここからの年末までの動きに注意したい。
	衣服	
木材・木製品	製材	・9月までの販売状況は非常に厳しく前年同月比20~30%減少だったが、10月中旬より受注・販売状況ともに前年並みに回復。 ・杉、桧等3mの原木不足と原木価格の上昇傾向により製品の入荷も非常に少ない状況。 ・プレカット工場の稼働状況は、前月に引き続き落ち着いた動きとなった。
	県北地区プレカット	売上高の減少が続いていたが、11月は徐々に受注予定が多く入っている。ただし、200坪未満の倉庫や車庫等が多い。ここに来て一部製品の不足が開始加工予定の調整に苦労している。
	県央地プレカット	10月は大型物件の加工もあり、工場も一時期24時間体制にしないと間に合わない状況となった。大型物件も引き続き動き出していて、11月も順調に予定が埋まってきた。
紙・紙加工品	段ボール	前年同月よりは悪化しているが、9月よりはよくなってきたという話が聞かれた。GoToトラベルなどで人が動いてきた影響で少し景気が回復してきたようだ。ただし、人が活動し始めたことにより新型コロナウイルスの感染者が増えてきているため、今後が心配である。見えない敵(新型コロナウイルス)と見えない先行き。いつまで辛抱すればよいのか。
印刷	総合	コロナ禍の影響が長引き、組合員企業の中には業務閑散時の休業日導入、交替での休暇取得を実施している所が見られる。引き続き資金繰りも容易ではない。
化学・ゴム	自動車部品	

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和2年10月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	窯業・土石製品	県央地区石材	
		県西地区石材	
		コンクリート製品	
		焼物	GoToトラベルの効果からか週末の人出が目立つようになってきた。笠間焼業界も含めて笠間市内の関係団体によるイベントを正月明けに開催する準備をしているが、ここにきて大都市で感染拡大しており今後が心配である。
		生コンクリート	
	鉄鋼・金属	鍍金	<ul style="list-style-type: none"> ・受注量は全体的に前年同月と比較して1割程度下回った。前月は一時的によかったが、前月比でも1割程度下回った。11月に期待している。 ・金属材料は貴金属は高値安定の状態。亜鉛は比較的安定している。工業薬品については基礎材料を除いて前年並みで大きな変動は無い。 ・電気料金は前年並み、灯油・燃料代は値上がり傾向である。
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較して増加が5社、減少が2社となった。全体増減率は前年同月比107%であった。売上は1年以上連続での減少傾向に歯止めがかかり、前年同月比で組合員全体で増加となった。新型コロナウイルスの影響払拭まではいかないが、海外市場での小型トラクター機械等の出荷が順調に伸びてきており、今後期待が持てる状況にある。
	電気機器	重電	
輸送機器	自動車部品	9月よりはやや上向きだが、取引先との関係なのか企業間の格差がある。先行きを見通すことは困難。	
	輸送車両		
その他の製造業			
非 製 造 業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比9.68%増加。大型量販店(スーパー等)が好調を維持し、仲卸業者・買受人等にも回復の兆しが見え始めている。10月後半には多少サンマ等の入荷があったものの、販売価格は高値で推移している。また、年末に向けて鮭・イクラ・数の子等も前年同月比で2~3割高で推移しているため、厳しい状況が続いている。
		県南地区卸	売上は前年同月比で、食品関連(8社)は95%、建築資材関連(7社)は70%、福祉介護用品(3社)は100%、日用品雑貨(4社)は97%となった。また、食品関連、建築資材関連、福祉介護用品は9月と比較して売上高増加。日用品雑貨は減少した。
		食品卸売業	10月は野菜果実合計で前年同月比114%の取引高となった。目立った台風こそ少なかったが、じわじわと続いた曇天による日照不足の影響からか全体的には数量減の単価高となったが、朝夕の冷え込みとともに需要の伸びる白菜等の鍋用の食材は潤沢で単価が下がっている。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は、前年同月比22%増加。前年の台風等により水害復旧工事を今年度行ったことによる需要増加が主因と思われる。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和2年10月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	小売業	
	県北地区共同店舗	売上は前年同月比109.8%、客数は同111.3%。地域プレミアム商品券が9月より始まり、全体的に良い影響となっている。利用期間が1ヶ月伸びたのでこのまま継続したい。
	県央地区共同店舗	全体の売上は前年同月比109%、食品は同114%、飲食は同105%であった。10月2日より市のプレミアム付商品券の使用が開始したことと10月22~24日にセールを開催したことにより売上が増加した。商品券特需は一過性のもののため、売上を確保するために折込チラシを前年より多く実施していく。依然として、アミューズメントやサービス業は前年割れが続いている。
	県南地区共同店舗	新型コロナウイルスの緊急経済対策による地域復興券の利用で売上は回復の兆しが見えるが、相変わらず集客を目的としたイベント・催事等が行えず、客数としては前年同月比83.3%と苦しい。売上は、前年同月比で衣料95.4%、文化品89.8%、食料品92.1%、飲食92%、サービス96.1%、全体93.5%となった。
	クレジット	
	家電	新型コロナウイルスの影響は家電業界でも10ヶ月以上続き、市場悪化により売上減少等、苦境に陥っている。年末商戦に入ってくるが、営業にあたり各店新形態な創意工夫が必要となる。
	石油	コロナ禍による石油燃料の消費については前年の9割程度に回復しているが、収束の目処が立っていないためか又は生活様式が変化しているためか100%まで回復していない。そのため販売価格を下げて販売する大手業者が出てきており地元業者は苦しい状況にある。さらに、10月中旬以降の冷え込みで季節商品である灯油もシーズンを迎えたが、灯油も安値販売する業者があり更なる収益悪化が予想される。
	農機具	
	中古自動車	台当たりの販売価格は前年同月比115.4%と大きく伸長し、8月から3ヶ月連続上昇した。また、販売台数が前年同月比95.3%と前年割れしたものの、販売価格の大幅な上昇により底上げされ、売上は前年同月比110.1%と上昇した。しかしながら、流通車不足による仕入れ値の高騰が続いており、利益は横這い。
飲食	組合員の売上に関しては新型コロナウイルス感染拡大の中、食品流通業界により食のライフラインを担っているため、比較的好調に推移してきた。しかし、10月頃より売上が前年並みの組合員店舗が増加。家庭での消費が大幅に増えているため、生鮮食品・ドライ備蓄品・酒飲料等の売上が好調。	
商店街	水戸	前年同月と比較すると売上は減少しているが、前月と比較するとGoToトラベルにより県外からの顧客が増加したため売上は増加した。
	筑西	新型コロナウイルスの影響により来店者数減少。売上減少が著しい。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が111.4%、軽自動車が105.5%となり、普通車・軽自動車ともに増加となった。
	ホテル・旅館	前年同月は国体出場選手や関係者の宿泊があったため通常の前年同月比に当てはめるのは難しく、前々年の同月と比較すると稼働率は7割程度、売上は6割程度となった。前月よりは多少上向き傾向にあるもののGoToトラベル事業に依存するところが大きいようである。GoToトラベル事業終了後の不安は拭いきれない。さらに、宴会や婚礼の取りやめや縮小は大きな打撃である。
建設業	総合	公共工事の発注は旺盛。各社手持ち工事は十分にある。それでも工事入札という受注形態のため一般競争入札は工事価格が高騰で参加業者も多いため予定価格での受注ではなく最低制限価格での落札競争が続いている。少額工事の指名競争入札は利益の少ない工事に不調が発生している。
	電気工事	
	管工事	
	交通安全施設	
	型枠工事	今月の業況は売上増加の組合員が一部いたが、ほとんどが不変だった。しかし、来年の状況を聞くと、先行で見積をし確定した作業所もありかなり期待が持てる。来年の干支は丑年。じっくり計画し、しっかりと完成させていきたい。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和2年10月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	10月の組合員数は116名、車両台数は148台で9月と比較して1名減少、1台減少となった。また、全国連合会での10月の組合員数は7,634名、車両台数は9,056台で前月と比較して32名減少、34台減少であった。
	貨物軽自動車運送	主要顧客の動向について、出荷量は徐々に回復しているが、未だ全体で前年同月比約1割減少しており、売上高も減少している。燃料価格はほぼ横ばいが続いている。
	県北地区一般貨物	
その他の非製造業		

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	パン給食回数の増加要望
	酒	酒造業者は新型コロナウイルスにより重大な経済的被害を受けており、今後の経営存続に懸念が生じている。行政への再度の持続化給付金等の財務支援のご検討をお願いしたい。
	漬物	行政へ資金援助の充実化
小売業	県央地区共同店舗	先月も記載しましたが、コロナ禍による消毒液などの消耗品経費がかさみ大きな負担となっている。新型コロナウイルスに関する消耗品費用など継続的な支援(補助金)を希望する。
	石油	・新型コロナウイルス感染症による経営環境悪化に対する補償 ・揮発油税に課税している二重課税の廃止
建設業	総合	一般競争入札において価格競争が続いている。最低制限価格の引き上げ等対策をお願いしたい。
	型枠	建設業界は、慢性的な労務不足となっている。官民を挙げて、建設業の魅力をアピールし新卒高校生や別の業界にいる人まで巻き込んで生産性のUPに繋げていきたいと思います。

月次景況調査 10月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	10月	9月	前月比	10月	9月	前月比	10月	9月	前月比
景 況	▲ 34.0	▲ 48.0	14.0	▲ 38.5	▲ 57.7	19.2	▲ 29.2	▲ 37.5	8.3
売 上 高	▲ 16.0	▲ 46.0	30.0	▲ 34.6	▲ 61.5	26.9	4.2	▲ 29.2	33.4
収 益 状 況	▲ 44.0	▲ 46.0	2.0	▲ 50.0	▲ 57.7	7.7	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 4.2
販 売 価 格	▲ 6.0	4.0	▲ 10.0	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 4.2	16.7	▲ 20.9
取 引 条 件	▲ 14.0	▲ 20.0	6.0	▲ 7.7	▲ 15.4	7.7	▲ 20.8	▲ 25.0	4.2

中小企業月次景況調査(令和2年10月)DI値(前年同月比)

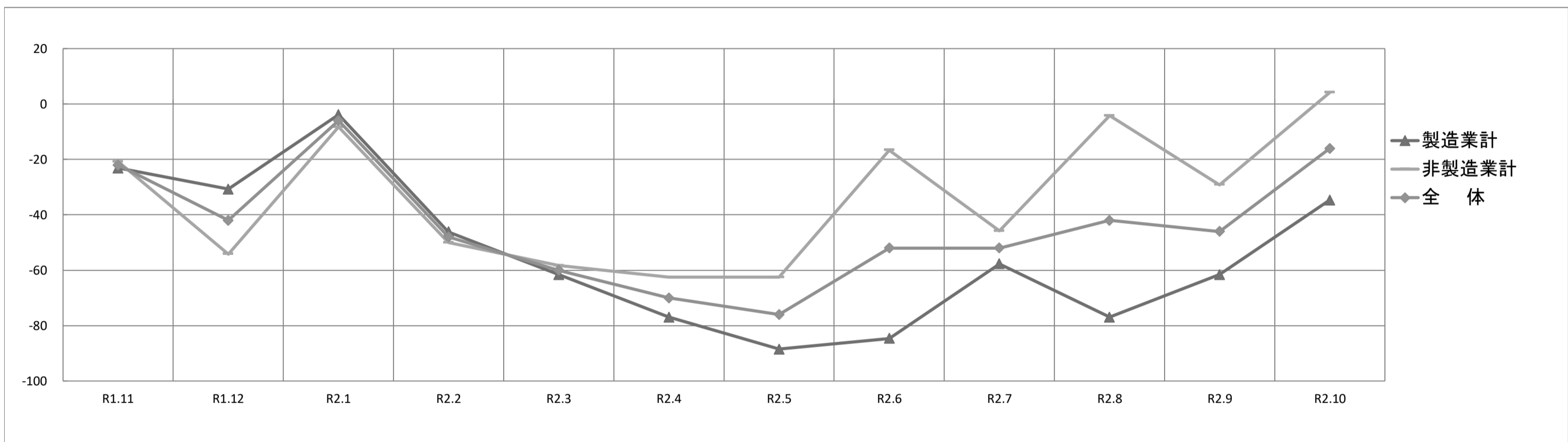
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 83.3	0	1	5	6	16.7	1	5	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	0	6	0	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 83.3	0	1	5	6
	繊維工業	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3
	木材・木製品	0.0	1	1	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	0.0	1	3	1	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	1	2	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	1	3	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	1	3	1	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	0.0	1	0	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2
製造業計	△ 34.6	5	7	14	26	△ 3.8	2	21	3	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 7.7	0	24	2	26	△ 50.0	1	11	14	26	△ 30.8	0	18	8	26	△ 30.8	2	14	10	26	△ 19.2	0	21	5	26	△ 38.5	2	12	12	26	
非製造業	卸売業	100.0	4	0	0	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	50.0	2	2	0	4	50.0	2	2	0	4					0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	
	小売業 (商店街含む)	△ 9.1	5	0	6	11	△ 9.1	2	6	3	11	△ 9.1	1	8	2	11	△ 36.4	0	7	4	11	△ 63.6	1	2	8	11	△ 54.5	0	5	6	11					△ 18.2	0	9	2	11	△ 54.5	1	3	7	11	
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	建設業	20.0	2	2	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5		
	運輸業	△ 100.0	0	0	2	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2		
	非製造業計	4.2	11	3	10	24	△ 6.7	2	10	3	15	△ 4.2	2	19	3	24	△ 20.8	0	19	5	24	△ 37.5	3	9	12	24	△ 25.0	2	14	8	24					△ 8.3	0	22	2	24	△ 29.2	3	11	10	24	
全体	△ 16.0	16	10	24	50	△ 4.9	4	31	6	41	△ 6.0	3	41	6	50	△ 14.0	0	43	7	50	△ 44.0	4	20	26	50	△ 28.0	2	32	16	50	△ 30.8	2	14	10	26	△ 14.0	0	43	7	50	△ 34.0	5	23	22	50	

D I 値推移表 (R1.11月 ~ R2.10月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 66.7	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 25.0	5.0	▲ 45.0	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 90.0	▲ 55.0	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 76.9	▲ 88.5	▲ 84.6	▲ 57.7	▲ 76.9	▲ 61.5	▲ 34.6
卸売業	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	25.0	50.0	0.0	50.0	25.0	100.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 36.4	0.0	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 63.6	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 9.1
サービス業	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 100.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	20.0
運輸業	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 54.2	▲ 8.3	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 62.5	▲ 62.5	▲ 16.7	▲ 45.8	▲ 4.2	▲ 29.2	4.2
全体	▲ 22.0	▲ 42.0	▲ 6.0	▲ 48.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 76.0	▲ 52.0	▲ 52.0	▲ 42.0	▲ 46.0	▲ 16.0

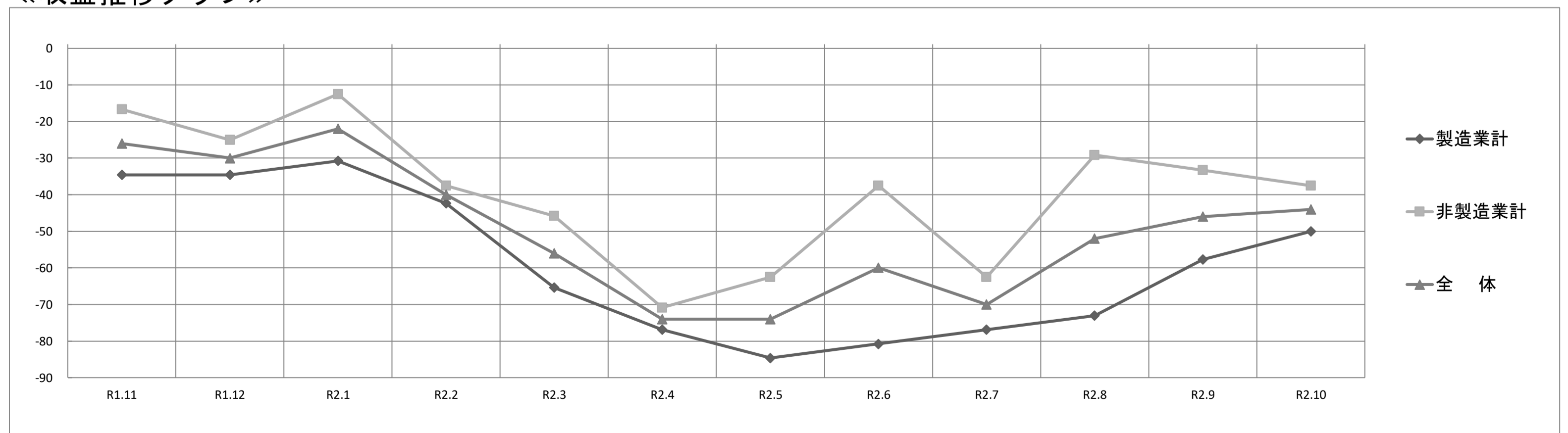
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 65.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 80.0	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 65.0	▲ 40.0
製造業計	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 65.4	▲ 76.9	▲ 84.6	▲ 80.8	▲ 76.9	▲ 73.1	▲ 57.7	▲ 50.0
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	0.0	25.0	▲ 25.0	25.0	50.0	50.0
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 63.6
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 70.8	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 29.2	▲ 33.3	▲ 37.5
全体	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 40.0	▲ 56.0	▲ 74.0	▲ 74.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 52.0	▲ 46.0	▲ 44.0

《収益推移グラフ》

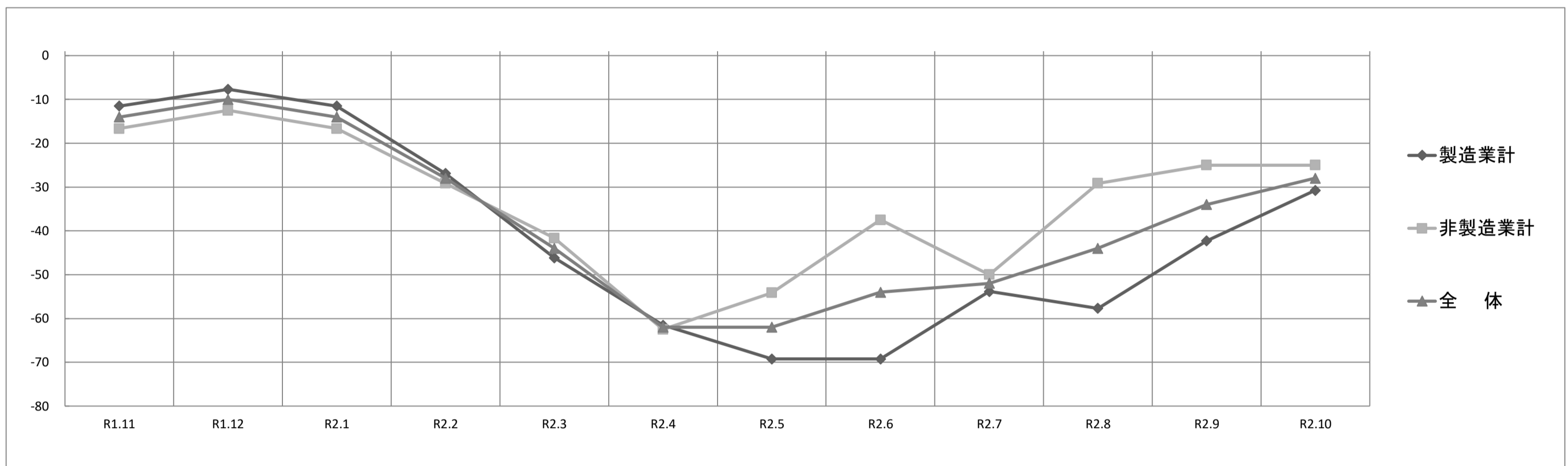


D I 値推移表 (R1.11月 ~ R2.10月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 55.0	▲ 65.0	▲ 65.0	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 25.0
製造業計	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 69.2	▲ 69.2	▲ 53.8	▲ 57.7	▲ 42.3	▲ 30.8
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 75.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	50.0	50.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 54.5
サービス業	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 62.5	▲ 54.2	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 25.0
全体	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 14.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 62.0	▲ 62.0	▲ 54.0	▲ 52.0	▲ 44.0	▲ 34.0	▲ 28.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 55.0	▲ 85.0	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 25.0
製造業計	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 50.0	▲ 57.7	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 69.2	▲ 65.4	▲ 57.7	▲ 38.5
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	25.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 72.7	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 54.5
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 62.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 29.2
全体	▲ 28.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 50.0	▲ 66.0	▲ 78.0	▲ 72.0	▲ 62.0	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 48.0	▲ 34.0

《景況推移グラフ》

